

TOTO

シングルレバー混合栓（清水器用）

TK50-2型
TK51-2型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。




1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください。）

お取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。




●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」の内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制内容」です。

注意

	湯・水を逆に配管しないでください。水を出そうとしても、湯が出て、やけどをするおそれがあります。
	給湯温度は最高85℃まででお使いください。85℃以上でご使用になると、器具の寿命が短くなり水栓の破損で水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	水栓本体内部を分解しないでください。水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

この商品は、TOTO清水器（TK300B型）とセットで使用することで清水器兼用水栓となります。

2 使用条件

1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組合せる場合
給水圧力 { 最低必要水圧…(下表参照)
 { 最高水圧……………0.75MPa
器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機タイプと号数		最低必要水圧			
比例制御タイプ	TOTO ハイカスタム	16号 20号	0.06		
	TOTO ハイトリコン	16号 20号 21号		0.05	
		24号			
		TOTO ハイコマンド	16号 20号 24号		0.06
	TOTO ハイアクティ		約21号 約27号	0.05	

〈設定条件〉

項目	比例制御タイプ
吐水ハンドル	全開
吐水温度	38℃
給湯配管長さ	5m
着火条件	●給湯機が着火する下限の圧力 ●水温が高い(25℃)夏期を想定
出湯温度	60℃

※能力手動タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さい方に切替えると着火しやすくなります。

2-2

(2) 貯湯式温水器と組合せる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要水圧…0.05MPa
最高圧力………0.75MPa

(3) 給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯温度について

- 給湯に**蒸気を使用しない**でください。
- 給湯温度は**85℃以下**でお使いください。
- 電気温水器ご使用の際は、給湯温度を85℃以下に調節してください。
85℃以上でご使用になると、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財に損害を与えるおそれがあります。

3. 配管について

- 湯・水を**逆配管しない**でください。
給水ホースには◎ラベルを、給湯ホースには⊕ラベルを貼付けています。
なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

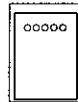
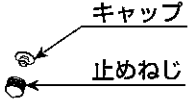
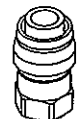

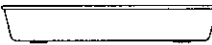

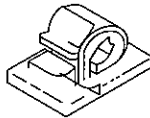

4. 止水栓について

- 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。

3

部品の確認

同梱部品

No.	数量	名称	
1	1冊	取扱説明書	
2	各2個	止めねじ キャップ	
3	2個	ワンタッチソケット	
4	1個	ホースクランプ (スパウトタイプのみ)	
5	1個	水受トレイ (ハンドシャワータイプのみ)	
6	1個	ストッパー (ハンドシャワータイプのみ)	
7	4個	クランプ (ハンドシャワータイプのみ)	
8	1セット	定流量弁付ソケット	

なお、本商品には、**水栓固定用の呼び2.5の六角棒スパナ**が同梱されています。

4

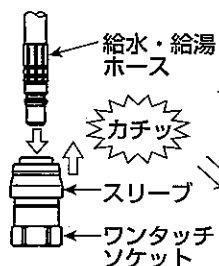
取付け前に

より簡単に施工していただくために、ワンタッチソケットを採用しています。

ワンタッチソケット（一般用：逆止弁付、寒冷地用：逆止弁なし）

混合栓の給水・給湯ホースとソケットの脱着がワンタッチで可能です。

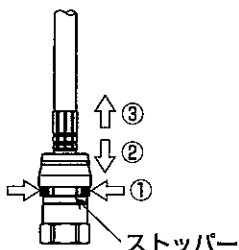
取付け方法



給水・給湯ホースをカチッと音がするまで確実に差し込んでください。スリーブが移動してグリーンのスTOPパーが見えます。

引っ張って外れないことを確認してください。

取外し方法



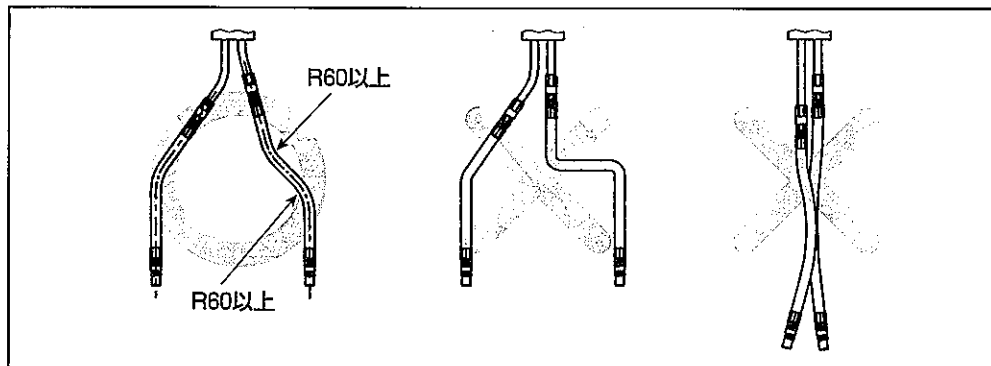
①グリーンのスTOPパーを左右から押し込み

②スリーブを下げて

③給水・給湯ホースを引き抜いてください。

給水・給湯ホースの施工上の注意点

- (1) 給水・給湯ホースを逆に使用しないでください。
- (2) ホースの折れに、ご注意ください。
ホースを最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあります。折れた部分で早期破損を生じる可能性があります。
施工時には、最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、ご注意ください。
- (3) 金具本体端面から極端に屈曲して、施工しないでください。
- (4) ホース同士の不要な接触は避けてください。
外部補強層の摩耗による外傷でホース性能の劣化の可能性がありますので避けてください。



止水栓位置の確認（下記の位置が推奨位置です。施工前に確認ください。）

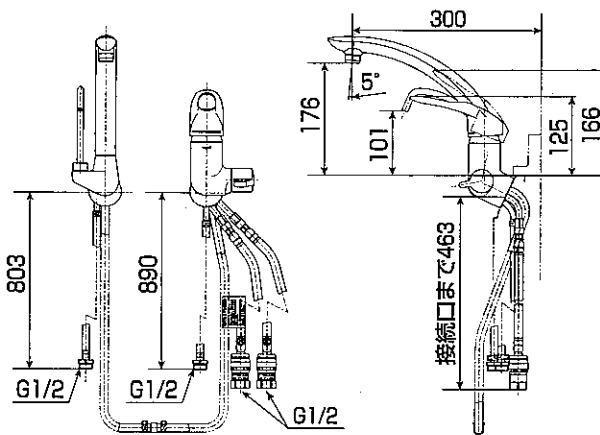
- (1) 高さ方向：床から480mm
- (2) 水平方向 給水：本体より右に270mm 給湯：本体より右に170mm

5

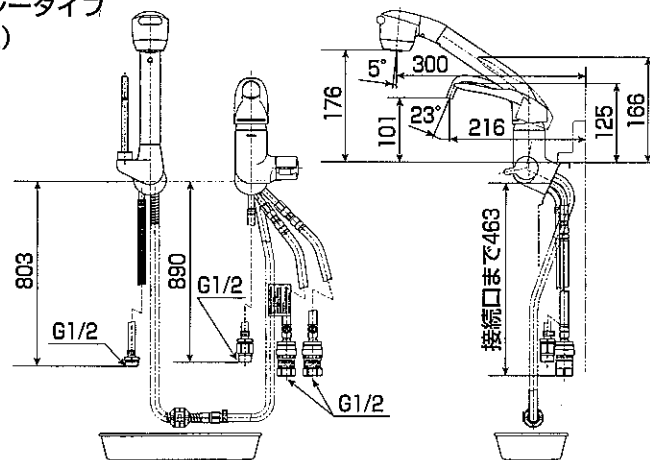
完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

スパウトタイプ (TK50-2型)



ハンドブレードタイプ (TK51-2型)



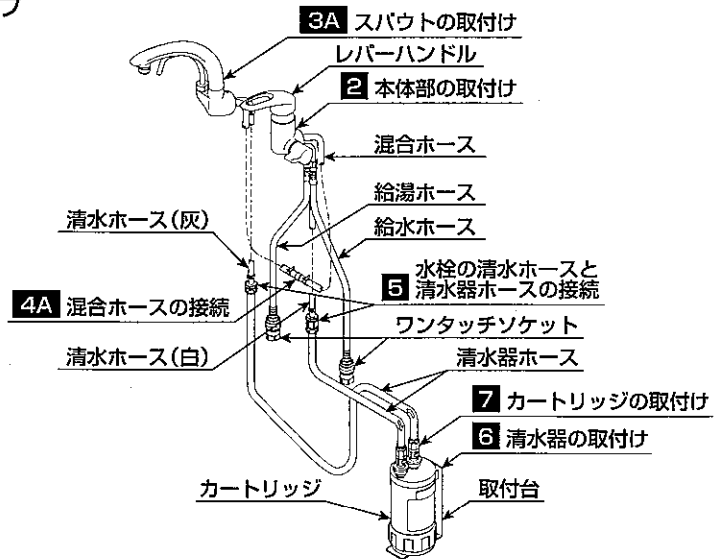
使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。レバーハンドルを速く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが故障ではありません。万一、レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

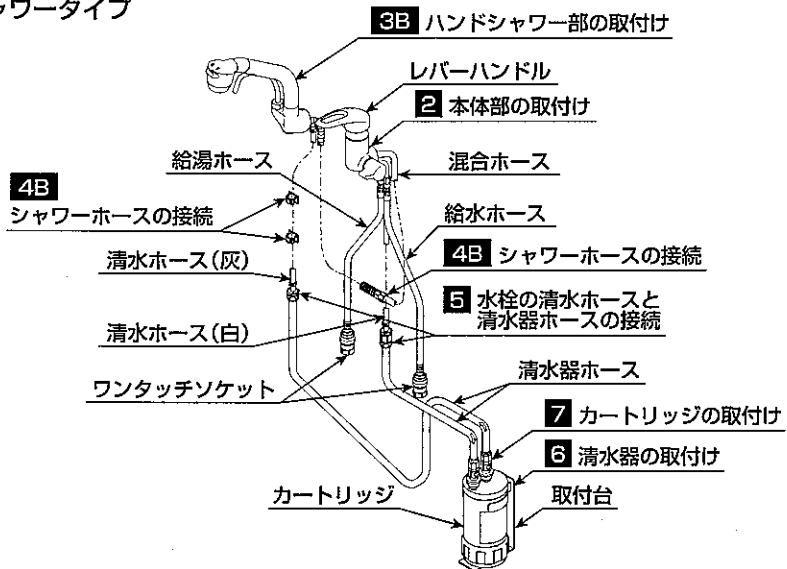
6-1

施工手順

スパウトタイプ



ハンドシャワータイプ



6-2

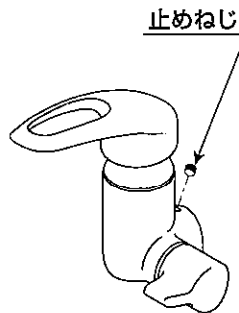
施工方法

1 給水管内の清掃

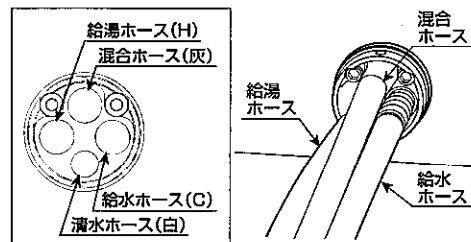
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

2 本体の取付け

2-1 止めねじを本体止側のねじ穴に仮ねじこみする。
ねじは、内側に出ないようにする。

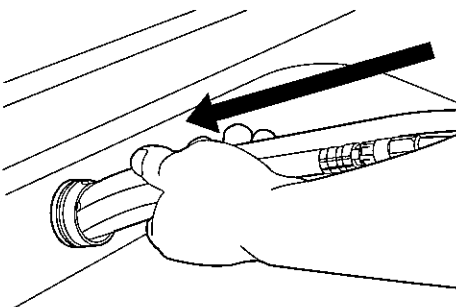


2-2 シンクの取付金具のOリングにゴム等がないことを確認する。
ホースをそろえて清水ホース、混合ホース、給水、給湯ホースの順にシンクに向かって右側の取付金具に挿入する。

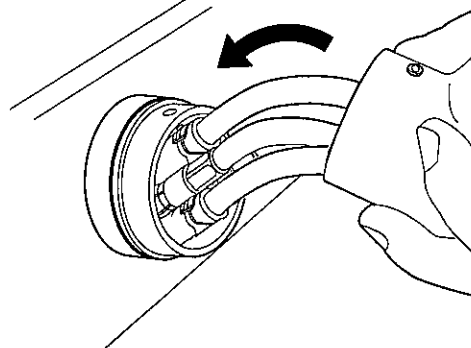


ホースは、交差しない様にしてそろえて挿入してください。

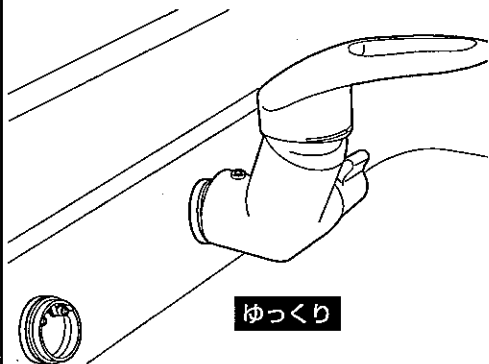
2-3 ホース先端がキャビネットに当たりますので、なるべくホース先端が下向きになるように手でホースを送りこみながら、挿入する。



2-4 給水、給湯ホースが銅管につながるところまで挿入できたら、本体をささえながら銅管の曲がりに沿うように本体を押しこむ。

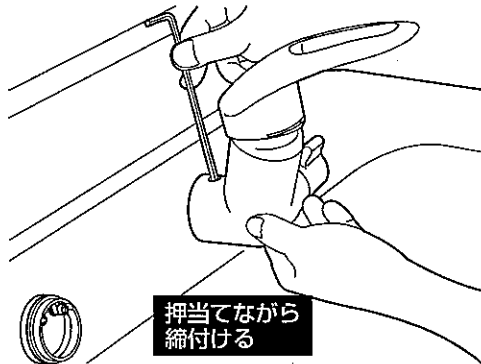


2-5 本体が取付金具まで挿入できたら、本体の根元がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押しこむ。



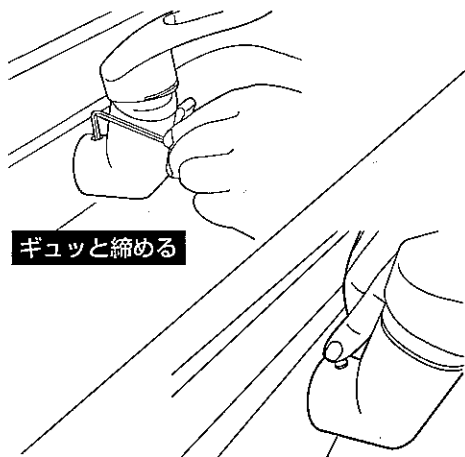
入りにくい場合は、取付金具のOリングに水等をつけると入ります。

2-6 本体の向きを合わせて本体をシンクに押当てたまま、六角棒スパナの長い方を使って止めネジを締付ける。



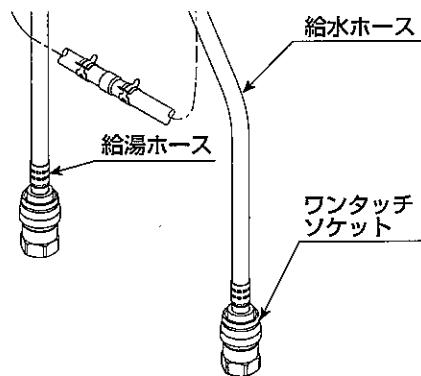
締付後、本体がまっすぐに取付けられていることを確認ください。

2-7 六角棒スパナの短い方を使って増締めして確実に固定する。その後、止めネジのキャップを押込む。



本体が確実に固定され、ガタ等がないことを確認ください。

2-8 ワンタッチソケットを止水栓にねじ込んだ後、給水、給湯ホースをワンタッチソケットにカチッと音が出るまで挿入する。(キャビネット内での作業)

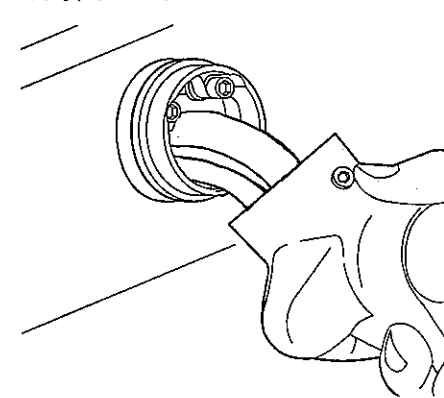


この作業はスパウト(ハンドシャワー)取付後、実施ください。ワンタッチソケットのグリーンのスTOPパーが見え、漏れないことを確認してください。

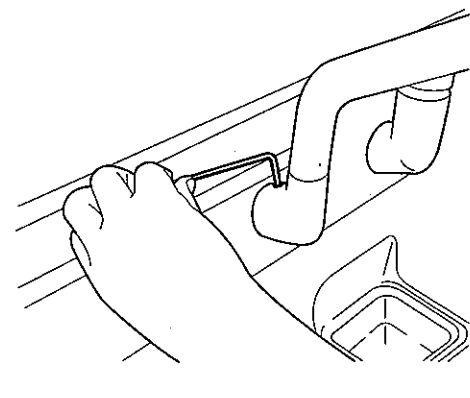
スパウトタイプ

3A スパウトの取付け (スパウトタイプ)

3A-1 本体と同様に止めねじを仮ねじこみ後、清水ホース、混合ホースの順に左側の取付金具に挿入し、スパウト根元部がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押しこむ。

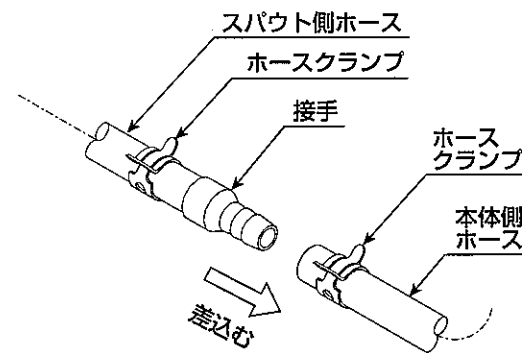


3A-2 スパウト部の向きを合わせて、スパウト部をシンクに押当てたまま、本体と同様に六角棒スパナで止めねじを締付けた後、キャップを押込む。



4A 混合ホースの接続 (キャビネット内での作業)

本体側混合ホースにホースクランプを通した後、スパウト側混合ホースの接手先端を混合ホースに押し込み、**クランプで固定**する。ホースは接手の根元まで差込んでください。

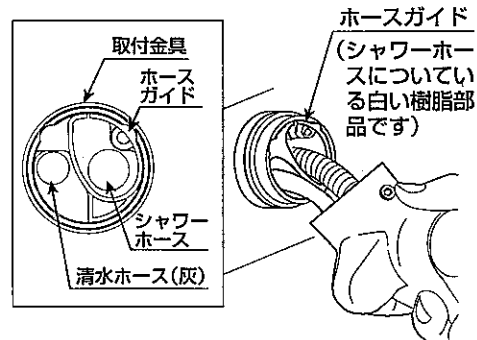


通水時、漏れがないことを確認してください。給湯、給水ホースと混合ホースがからまないように注意ください。

ハンドシャワータイプ

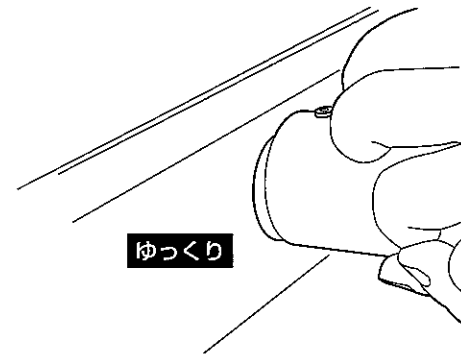
3B ハンドシャワー部の取付け

3B-1 本体と同様に止めねじを仮ねじこみ後、清水ホース、シャワーホースの順に左側の取付金具に挿入する。シャワーホースをほぼ挿入したところでホースガイドを取付金具の形状に合わせて差込む。



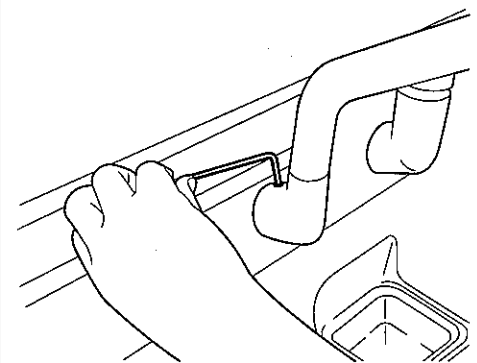
ホースガイドの凸部と取付金具の凹部を合わせるように取付けてください。

3B-2 ハンドシャワー部を根元部がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押しこむ。



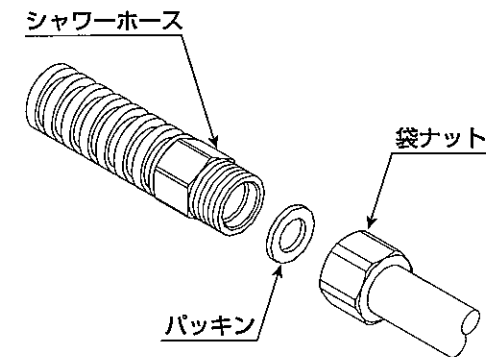
入りにくい場合は、取付金具のOリングに水等をつけると入りやすくなります。

3B-3 ハンドシャワー部の向きを合わせてハンドシャワー部をシンクに押当てたまま、(2-6) ~ (2-7)と同様に六角棒スパナで止めねじを締付けた後、キャップを押込む。

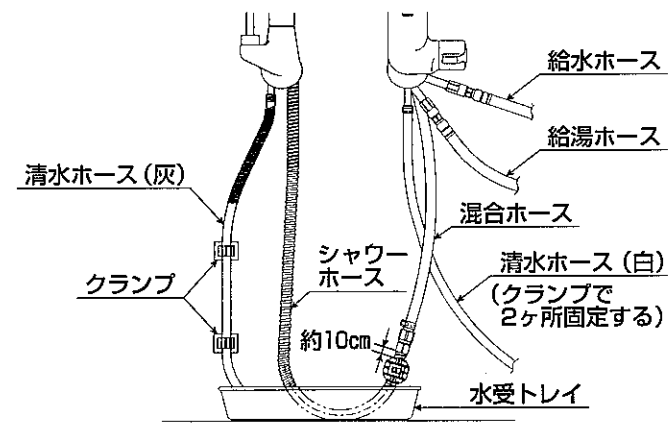


4B シャワーホース、ストッパーの接続、水受けトレイの設置(キャビネット内での作業)

4B-1 本体側の混合ホースの袋ナットにパッキンを入れ、シャワーホースを**工具で締込み接続**する。



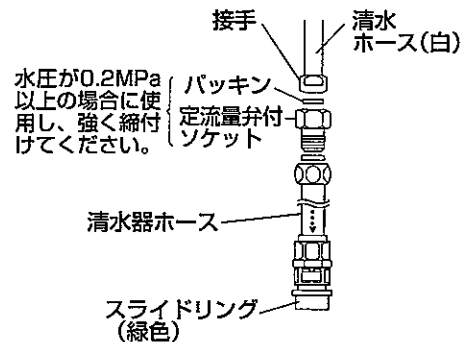
4B-2 図の位置にストッパーをつけ、水受けトレイをキャビネット内に設置する。



給湯、給水ホースとシャワーホースがからまないようにご注意ください。
カートリッジを取付けてシャワーホースの出入れ確認後、清水ホースをシャワーホースのじゃまにならないようにクランプで止めてください。

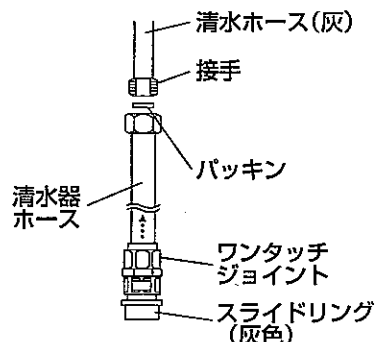
5 水栓の清水ホースと清水器ホースの接続（キャビネット内の作業）

5-1 水栓本体の清水ホースに、清水器の緑色のスライドリングのついたホースを接続する。



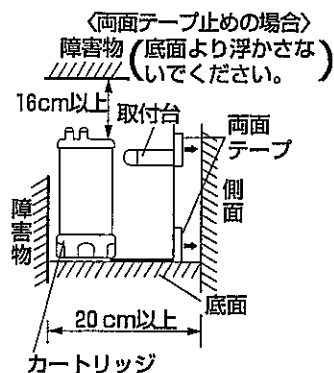
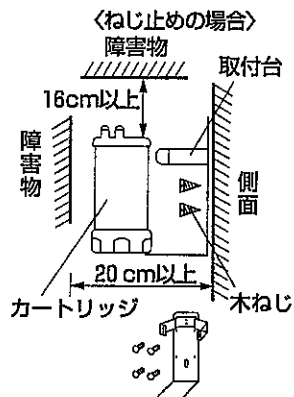
ホースが長い時は、ホースクランプと接手をはずしてホースを切って再度接手をさしこみ、ホースクランプで元のように固定してください。
清水器ホースは、清水器付属品です。
混合栓接続部ラベルとホースの向きを同方向になるように接続ください。

5-2 スパウト側の清水ホースに清水器の灰色のスライドリングのついたホースを接続する。



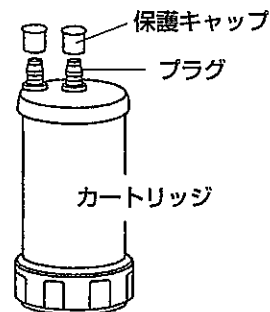
6 清水器の取付け（キャビネット内の作業）

清水器は、キャビネット内で水栓より接続可能で取付台、カートリッジ本体を十分支えられる場所を選んで取付ける。
取付台は、ねじ又は、両面テープで取付けてください。（下図参照）

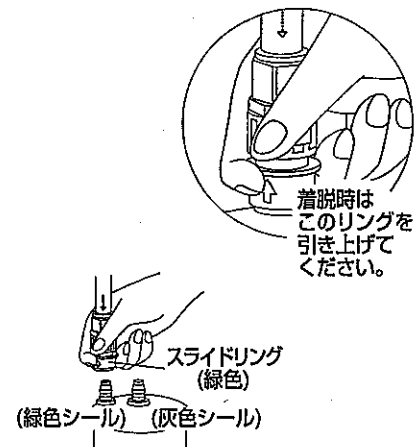


7 カートリッジの取付け（キャビネット内の作業）

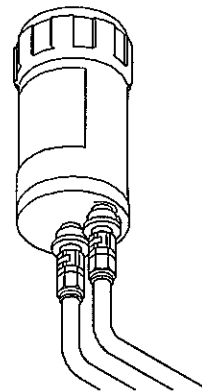
7-1 カートリッジのプラグ先端の保護キャップを外し、カートリッジのシールとガイドリングの色を合わせて接続する。



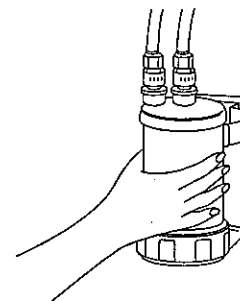
7-2 接続時はスライドリングを上へ上げたまま、いちばん奥までしっかりと押し込む。



7-3 カートリッジに通水し、水漏れがないことを確認する。
通水しながらカートリッジを持上げ、逆さまにして、カートリッジ内の空気を抜く。



7-4 取付台にカートリッジを手で押込んで固定する。

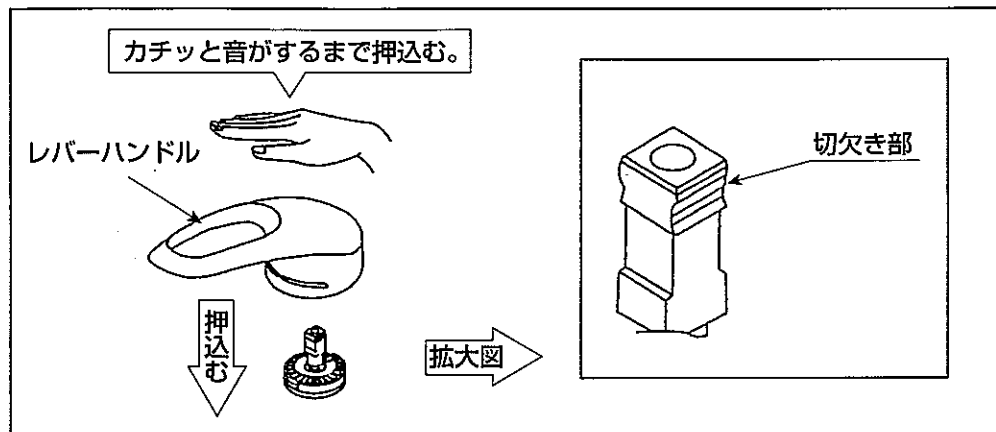


ホースがねじれたり、からんだりしないようにご注意ください。
給湯ホースにホース、カートリッジが接触しない様ご注意ください。

逆さまでしばらく通水ください。

7 レバーハンドルの取付要領

このレバーハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。

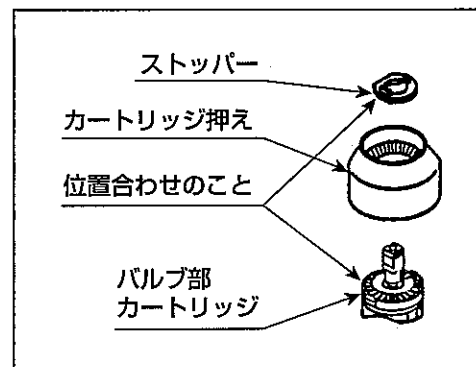


ご注意

レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。
正面から見てレバーの切欠きは、両サイドにあります。
万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押込んでください。
最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

8 点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。再セットされる際に、ストッパーを組み込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。その際カートリッジ押えの内側の歯とストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向に少し回して、歯を合わせるように調整してください。



注意



分解禁止

バルブ部カートリッジ内部は、精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。